

愛知県重症外傷センターについて

1年間の試行を踏まえた今後の方向性について、令和6年度に愛知県重症外傷センター（仮称）方向性検討会及び愛知県救急医療協議会で議論し、令和6年度第1回愛知県医療審議会5事業等推進部会にて、本格運用に向けた準備を進めていくことが承認された。

1 検討・準備状況

日付	内容
令和6年8月23日	○令和6年度第1回愛知県救急医療協議会 ・方向性検討会の報告 ・今後の方向性に関する検討  本格運用に向けて進むことについて賛成多数
令和6年10月9日	○令和6年度第1回愛知県医療審議会5事業等推進部会 ・救急医療協議会の結果報告 ・今後の方向性（本格運用に向けた準備）の承認  本格運用に向けて準備を進めることで承認
令和6年11月7日	○愛知県重症外傷センターに関する調査 ・重症外傷センター意向調査 ・機能基準の充足確認

2 愛知県重症外傷センターに関する調査結果

県内全救命救急センターを対象に、愛知県重症外傷センターの意向及び機能基準調査を行った。

調査の結果、現在の試行2病院を含む7病院から希望ありとの回答があった。その中で愛知県重症外傷センター機能基準を全て満たした病院は、**名古屋掖済会病院、愛知医科大学病院、中京病院、藤田医科大学病院の4病院**であった。

取りまとめ結果については、資料3-2のとおり。

⇒【救急医療協議会の意見】4病院同時に指定し、本格運用を始める。

3 愛知県重症外傷センター設置要綱

本格運用に伴い、「愛知県重症外傷センター設置要綱」について愛知県救急医療協議会及び医療審議会5事業等推進部会で検討をし、策定する。

要綱（案）については、資料3-3のとおり。

⇒【救急医療協議会の意見】要綱（案）で了承された。

4 愛知県重症外傷センターへの傷病者の搬送ルール

愛知県救急搬送対策協議会等での議論や県内消防本部（局）の意見を参考とし、本格運用に係る傷病者の搬送ルールを作成する。県内全消防本部（局）とは、令和7年1月に意見照会を行い、令和7年2月に検討会を開催した。

愛知県重症外傷センターへの傷病者の搬送ルール（案）については、資料3-4のとおり。

⇒最終的には、愛知県救急搬送対策協議会にて搬送ルールを決定する。

5 今後の想定スケジュール（案）

日付	重症外傷センター	搬送ルール
令和7年3月	○第2回5事業等推進部会 ・本格運用の承認	○第2回救急搬送対策協議会 ・搬送ルール承認 (又は検討状況報告)
令和7年度中		(○第1回救急搬送対策協議会) (・搬送ルールの承認) ○消防向け説明会(仮)
	◎本格運用	